

今週のモーニングセミナー報告

令和4年9月21日(水)の講話 <第910回>

テーマ：だけじゃない片付けの力

講師：お片付けの学び場。代表 UEHARAHONPO 店主 上原千鶴 様

今日は貴重な時間を取っていただきありがとうございます。『だけじゃない片付けの力』と題して経験を含めてお話頂いた。片付けの協会は30社あって、10社以上の資格を取り、資格貧乏にならないかと思いつつ、5年間の私自身の片付け学習、どの世代の人にも幸福感を感じてほしい。(事例の写真) グローバルセンターの30代の女性の部屋ビフォーアフター。なぜ片付けできなかつたか? 環境と習慣でできなかつた。いつしか気にならない。「快の感情」すり込み教育。放っておいて生まれる感情ではない。モノにはエネルギーがあります。モノが多ければそれだけで圧迫されて疲れてしまう。モノがますます増えてしまう。モノのパワーバランスとやらないかんという自らを奮い立たせる事。モノと戦うことができる。①モノが部屋にあふれて適量オーバー②定位置に置かれない③もったいないの勘違い。毎日10分間の探し物に費やすと①1年間で61時間のロス②お金のお得(損をする感情に)③空間のお得④掃除しやすくなって、健康のお得⑤安全のお得(踏んでしまってけがをする)良い気が流れて、汚いところに邪気が溜まる。防災を考えて収納。損をする感覚に⇒モチベーションがあがる。思い出BOX(期日を記入して)モノが喜ぶように。使っていない捨てづらいものの処分⇒紙に包んで捨てる。人形・写真に撮ってから捨てる。保留BOX⇒保管期間は一年間。一年後に見直す。ポイント: だす⇒わかる⇒しまう。◆楽ちん化・見える化(一目でわかる)・セット化(一緒に使う)「片づけやすい」元に戻す工夫。ゴールデンゾーン⇒取り出しやすい腰から上視線の高さまで。片付けをきちんとすると、心まですっきり〜プロジェクターを使って、わかりやすい大変参考になる御講話でした。

担当者: 赤山 芳隆

モノにはエネルギーがあり多いと圧迫される。適量オーバー、モノが部屋にあふれている。片付けができる①時間②お金③空間④健康⑤安全を得ることができる。1日10分探し物をすると、1ヶ月で300分、1年で61時間の時間を費やす。その時間を2泊3日の旅行に当てられる。出す、分ける、しまうの順番、定位置を決める-物の住所を決める。物の住所を決めるという言葉ははじめて聞いた言葉で、なるほど、そのとおりだと思いました。引き出しは手前に使うもの、奥にあまり使わないもの、上の段は軽いものを置く。上の段に重いものを置いておくと落ちてきたときに怪我する危険もある。きれいをキープ、もとに戻すことを習慣化することを話されました。倫理法人会でも物はこれを生かす人に集まる、得るは捨つるにありの言葉のように片付けをしていき、事案を大切にしていこうと思いました。

会長: 松浦 清貴

連絡事項

※次回のモーニングセミナーは9月28日(水)朝6:00~7:00南新町自治会館にて経営者モーニングセミナーをします。「100日実践中 経過報告」と題しまして香川県さぬき市倫理法人会 専任幹事 安本さゆり様の講話を予定しております。次回も是非ご参加ください。

出席社数 14 14名

香川県東かがわ市倫理法人会 TEL (0879) 26-9000/FAX (0879) 26-9001

メールアドレス rinri-hk@ma.pikara.ne.jp